

入門解説

ドラッカーに学ぶ人事マネジメント

～もし人事マネジャーがドラッカーの真髓を読み取ったら～

株式会社オーケストレーション

代表取締役 向井 一男

■人事担当者へ贈る言葉

現代社会最高の哲人であり、マネジメントの父と呼ばれたP.F.ドラッカーは、「社会における人間としての存在」を基本にマネジメントを我々に教えてきた。ドラッカーは、企業（組織）の目的は顧客の創造であり、それをする手段がマネジメントだと言っている。

そこでドラッカーが人事担当者に伝えたいことは、【人事は、組織の目標を達成するために、社会から人という尊厳あるかけがえのない存在を預かる。そして組織は成果をあげ社会に貢献するだけではなく、組織で働く人たちに生き生きと成果をあげさせることによって自己実現と成長の機会を与えなければならない】であり、筆者なりにあらゆる角度からこの課題にどのように取り組めばいいのかをまとめてみた。

筆者はドラッカーを研究して26年になるが、この作業は大変難しいことであり、難読な部分もまだ残るかもしれないが、あらかじめご容赦願いたい。入門解説として、読者とドラッカーとの距離が少しでも縮まれば幸いである。

CONTENTS

- 【1】 P.F.ドラッカーって何者？（現代社会最高の哲人）
- 【2】 企業の目的（社会の機関/顧客の創造）
- 【3】 組織を動かす
（マネジメント/ミッション/人を育てる人事）
 - 何のためのマネジメントか
 - 組織を動かすためのミッション
 - 人を育てるための人事のポイント
- 【4】 仕事と労働（仕事とは/労働の力学）
 - 仕事とは何か
 - 労働の力学
- 【5】 人事の要諦（手順/責任/評価）
 - 人事に関する手順
 - 人事における5つの責任
 - 強みと真摯さを評価する
- 【6】 成果をあげる方法（貢献/強み/時間/集中/意思決定）
 - なぜ成果があがらないのか
 - 成果をあげる5つの習慣
- 【7】 マネジャーとは何か（役割/仕事）
 - マネジャーの役割
 - マネジャーの仕事
- 【8】 人事担当者の職責（人と組織の成長を期して）



■向井 一男 Kazuo Mukai

ニューヨーク上場企業（The Berlitz Schools of Languages Inc.）日本支社にて、営業統括本部長、経営企画室室長歴任。新しいコンサルタント手法やコーチング手法を取り入れた独自のコミュニケーション・メソッドを開発する。また、そのスキルはマネジメントや人材育成、特にリーダー育成に大きな成果を生み、数々の秀逸な実績を残す。その後、米国ラーニングテクノロジーリミテッドの日本支社である教育教材開発およびイベント開発会社（World Family K.K.）にて新規事業開発、教育事業本部長を歴任。教育と学習と変化をテーマに、教育トレーナーを1,200人育成。教育トレーナー自らが学び、成長し、成功できるメソッドを開発。また、ディスレクシア（失読症/難読症）のコミュニケーションに関する研究を行う。他、邦人企業にて経営企画本部長、人事総務部本部長歴任。2010年、プロ・マネジャー養成機関として株式会社オーケストレーション設立。ドラッカー学会正会員。

■株式会社オーケストレーション

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町3-3-6 ワカ末ビル7階 TEL：03-6202-7190 <http://www.orchestration-inc.com/>